

2021年11月15日
高砂熱学工業株式会社

経済産業省「月面における水電解技術開発」の委託先に採択 ～非宇宙事業の民間企業が挑戦する、「世界初、月面での水素・酸素生成プロジェクト」が採択～

高砂熱学工業株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長COO:小島和人/以下「当社」)は、経済産業省が実施する「令和3年度宇宙開発利用推進研究開発(月面におけるエネルギー関連技術開発(水電解技術開発))」(以下「本事業」)の委託先として採択されました※1。

日本は、2019年に米国提案のアルテミス計画※2への参画を正式決定しましたが、当該計画の実施については、民間事業者等と協働することを掲げております。これを受け、経済産業省は、今般「月・月以遠での持続的な探査活動に必要な基盤技術の開発・高度化を進め、国際宇宙探査を支える基盤の強化及び裾野の拡大を図る」ことを目的に、月面利用を見据えた水電解技術開発の企画競争募集を実施しました。月面において地球の資源に依存しない持続的な活動を行うには、一定量存在するとされている水氷から、水電解技術を利用して水素と酸素を生成し、宇宙飛行士の常時滞在や月面離着陸機等の燃料として利用することが不可欠と考えられています。

今般、外部有識者による第三者委員会審査の結果、当社が本事業の委託先として採択されました。当社の月面水電解実証プロジェクトの計画性・実現性が評価されたものと考えております。

当社は、1923年の創業以来、空調設備エンジニアリングを主業としておりますが、約20年前、建築設備用途としての水素に着目し、水電解技術を磨いてまいりました。2019年12月には、宇宙スタートアップ企業の株式会社ispaceが運営する民間月面探査プログラム「HAKUTO-R」のコーポレートパートナー契約を締結し、月面での水から水素・酸素の生成への挑戦を開始しました。

本事業への採択をもって、これまで以上に月面水電解実証プロジェクトを力強く進めてまいります。また、宇宙で磨いた技術を地上へ還元するとともに、水素利用技術の社会実装に向けて取り組んでまいります。地球から宇宙まで、快適な環境を創る「環境クリエイター」として取り組んでまいります。

※1 経済産業省:令和3年度宇宙開発利用推進研究開発(月面におけるエネルギー関連技術開発(水電解技術開発))に係る委託先の採択結果について

<https://www.meti.go.jp/information/publicoffer/saitaku/2021/s211019002.html>

※2 NASAが提案するプログラムです。2024年までに月面に人類を送り、月周回有人拠点の建設を通じて、月面拠点の建設や月での持続的な活動を目指しています。日本や英国を含めた13か国参画しています。

本件に関するお問合せ先

広報部 平木・成田まで TEL 03(6369)8215 (直通)

平木 携帯: 070-2176-7713 E-mail: terumasa_hiraki@tte-net.com

成田 携帯: 080-6591-3037 E-mail: akiko_narita@tte-net.com